

日本アルカテル・ルーセント OpenTouch Conversation

最先端のUCをあらゆるデバイスへ
新たな“会話”がビジネス速度を高める

ビジネス上の会話を変革することを目的に作られた最先端のUCソリューション「OpenTouch」。多人数での会話を手軽に行えるマルチパーティ機能やマルチデバイス対応に加え、ラスベガスで5月に開催されたBest of Interropでコラボレーション部門を受賞した革新的なUI「OpenTouch Conversation」により、UCを身近にする。

ビジネスのスピードアップや、有事における事業継続を目的として、場所に関われない柔軟な働き方を実現しようとする動きが広がっている。そのため不可欠な要素が、距離や組織の壁を超えて円滑なコミュニケーションを行える環境作りだ。“ビジネスを止めない”ことは俊敏性を生み出し、企業競争力を一層押し上げる。

その実現に向けて、「Change the Conversation」をコンセプトに開発されたのが日本アルカテル・ルーセントのUCソリューション「OpenTouch」である。①会議通話を標準的なツールとして用いる「マルチパーティ」、②多種多様なデバイスがシームレスに連携する「マルチデバイス」、そして③ビデオの活用により、ビジネスにおける“会話”に変革をもたらす製品だ。

マルチパーティとは、例えば営業マンと顧客との通話に、社内の専門家を追加してサポートを受けたり、さらに顧客側の上司に参加してもらうなど、セッションを維持したまま1対1から多対多の通話へと自在に移行できる技術だ。

そして、同社が特に注力しているの

がマルチデバイス対応だ。和田賢一氏は「標準SIPを採用し、固定電話やテレビ会議、PCソフトフォン、スマートフォン／タブレットなど、あらゆる端末をつなげる。その場に応じて最適なデバイスが使えることで、迅速なコミュニケーションが可能になる」と話す。

ユニークなのが、通話を維持したまま使うデバイスを変えられる機能だ。固定電話で受けた通話を、途中からスマートフォンに切り替えて話しながら外出する、といったことも可能だ。

もちろん、IMやビデオ通話、データ共有、プレゼンスなども利用できる。状況に応じて自在に使い分けられる。

タブレットが新しい体験を生み出す
直感的な操作でUCが身近に

UCを身近なものとし、効果を発揮するために大切な要素がある。ユーザーインターフェースだ。この点についても同社は革新的なソリューションを用意した。iPadで直感的に使える「OpenTouch Conversation (OTC)」だ。顔写真と名前が表示されるコンタクトリストから相手を選び、タップする



日本アルカテル・ルーセント
エンタープライズ事業部
事業本部長
和田賢一氏

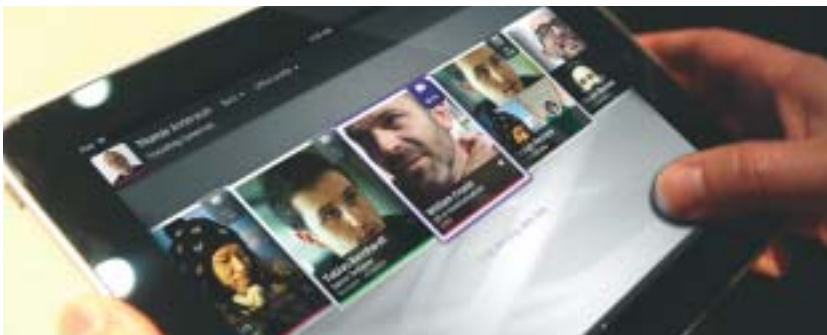
だけで電話やメール、IM、ビデオ通話などが瞬時に使える。顔写真の下には、カラーバーでプレゼンスが表示され（緑：連絡可能、赤：連絡不可など）、最適な連絡手段が選べる。

通話時にはウィンドウが開き、そこに他の人をドラッグ&ドロップするだけで、前述のマルチパーティが使える。そのほか、IMからビデオ通話へとといったメディア間の移行や、他のデバイスに通話を移す操作も、ボタン1つで行える。通話しながらのデータ共有も、もちろんサポートしている。

OTCは現在、iPad版をリリースしており、まもなく日本語版も登場予定。2013年にはAndroidタブレットにも対応する。また、ビデオ機能は制限されるが、iPhoneやAndroidスマートフォン用のクライアントも続々拡充される予定だ。最先端のUCがデバイスを選ばず使える世界を実現するOpenTouch。企業コミュニケーションを変革するものとして期待できそうだ。

お問い合わせ先

アルカテル・ルーセント ビジネスパートナー
株式会社ユーテック
エンタープライズソリューション営業部
TEL : 03-3222-2221
E-mail : sales@utnet.co.jp
URL : http://www.utnet.co.jp/



直感的な操作でUCが使える「OpenTouch Conversation」